純度試験
　放射化学的異物　クロム酸ナトリウム溶液（1→10）1滴を担体として、水／エタノール（95）／アンモニア水（28）混液（5：2：1）を展開溶媒として、ろ紙クロマトグラフィーにより、約10cm展開して試験を行うとき、クロム酸ナトリウム（^{51}Cr）のスポット以外の放射能はろ紙上の総放射能の10%以下である。
　なお、クロム酸ナトリウム（^{51}Cr）のスポットは、その色調で確認する。
定量法
⑴　本品の適当量について、ガンマ線測定法の放射能の定量により放射能を測定する。
⑵　本品の一定量を精密に量り、1，5―ジフェニルカルボノヒドラジドの8vol%硫酸溶液（2→5）1.0mL、希硫酸0.4mL及び水を加えて正確に10mLとし、よく振り混ぜ、約20分間放置した液を試料溶液とする。別にクロム酸カリウム標準液1.0～6.0mLを正確に量り、同様に標準溶液とする。これらの液について、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長550nmにおける吸光度を測定する。ただし、対照液は水を用いる。試料溶液及び標準溶液の吸光度を比較することにより求めた本品中のクロム酸ナトリウムの量と⑴で求めた放射能から、比放射能を算出する。
3　クエン酸ガリウム（^{67}Ga）注射液
　本品は、水性の注射剤で、ガリウム67をクエン酸ガリウムの形で含む。
　本品は、定量するとき、検定日時において、ガリウム67の表示された放射能の90～110%を含む。
製法
　本品は、塩化ガリウム（^{67}Ga）とクエン酸ナトリウム溶液を反応させてクエン酸ガリウム（^{67}Ga）を生成させた後、注射剤の製法により製する。
性状
　本品は、無色～淡赤色澄明の液である。
確認試験
⑴　本品について、ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法により試験を行うとき、0.093、0.185、0.300及び0.394MeVにピークを認める。
⑵　純度試験⑴により確認する。
pH
　6.0～8.0
純度試験
⑴　放射化学的異物　0.1mol／Lクエン酸三ナトリウム試液／エタノール（95）混液（5：3）を展開溶媒として、ろ紙クロマトグラフィーにより約10cm展開して試験を行うとき、クエン酸ガリウム（^{67}Ga）のスポット以外の放射能はろ紙上の総放射能の2%以下である（R_f＝0.7～0.9）。
⑵　亜鉛　本品50μLに水0.75mL及び0.1mol／Lアンモニア試液50μLを加え混和する。次にジエチルジチオカルバミド酸ナトリウム試液50μL及びジチゾン・イソプロピルエーテル試液1mLを順次加えてその都度激しく振り混ぜ、更に亜鉛試験用硫化ナトリウム試液1mLを加えて激しく振り混ぜる。数分間静置するとき、イソプロピルエーテル層の呈する色は、次の比較液より濃くない（5ppm以下）。
　比較液：亜鉛標準溶液50μLを試験管に採り、本品と同様に操作する。
⑶　鉄　本品0.5mLを採り、6mol／L塩酸試液0.5mL及び0.03%過酸化水素試液0.1mLを加えて激しく振り混ぜた後、5%チオシアン酸カリウム試液0.5mLを加えて激しく振り混ぜるとき、液の色は次の比較液より濃くない（20ppm以下）。
　比較液：20μg／mL鉄標準液0.5mLを採り、本品と同様に操作する。
⑷　重金属　本品2.0mLを採り、希酢酸0.2mL及び硫化ナトリウム試液1滴を加えて混和し、5分間放置するとき、液の色は、次の比較液より濃くない（0.5ppm以下）。
　比較液：0.5μg／mL鉛標準液2.0mLを採り、本品と同様に操作する。
定量法
　本品の適当量について、ガンマ線測定法の放射能の定量により放射能を測定する。
4　クリプトン（^{81m}Kr）ジェネレータ
　本品は、ジェネレータ剤で、ルビジウム81を水酸化ルビジウムの形で、適当なカラムに充塡した強酸性の陽イオン交換樹脂に吸着させ、これにクリプトン（^{81m}Kr）注射液及びクリプトン（^{81m}Kr）吸入用ガスを溶出させるために必要な装置及び不必要な被ばくを避けるための十分な遮へい装置を合わせたものである。
　本品のカラムに5w／v%ブドウ糖注射液等の非電解質注射液を通じることによりクリプトン（^{81m}Kr）注射液を、また、加湿した酸素又は空気を通じることによりクリプトン（^{81m}Kr）吸入用ガスを溶出することができる。
　本品中に含まれるルビジウム81とクリプトン81mが放射平衡にあるとき、本品の使用方法により本品から溶出されるクリプトン（^{81m}Kr）注射液及びクリプトン（^{81m}Kr）吸入用ガスは、定量するとき、検定日時において、ルビジウム81の表示された放射能の80～120%を含む。
製法
　本品は、適当なカラムに適当量の陽イオン交換樹脂を充塡し、精製、滅菌した水酸化ルビジウム（^{81}Rb）液を加えて吸着させ、注射用水でよく洗った後、その他の装置と合わせ、ジェネレータ剤の製法により製する。
溶出液試験
　本品の使用方法により、本品から溶出されるクリプトン（^{81m}Kr）注射液は、次に掲げる性状、確認試験、pH及び純度試験に適合する。
⑴　性状　無色澄明の液である。
⑵　確認試験　ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法により試験を行うとき、0.190MeVにピークを認める。
⑶　pH　3.0～6.5
⑷　純度試験（異核種）
　定量法で定量したクリプトン（^{81m}Kr）注射液を5分間放置したものについて、ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法の放射能の定量により放射線を測定するとき、検定日時において、クリプトン81m以外の放射能は総放射能の0.1%以下である。
⑸　定量法　クリプトン（^{81m}Kr）注射液について、ガンマ線測定法の電離箱による測定法の放射能の定量により、放射能を測定する。溶出放射能は、一定に達した際の測定値に補正係数を乗じて算出する。
　補正係数＝$e^{\lambda\times\frac{v}{\alpha}}$
　λ：クリプトン81mの崩壊定数（0.0533／秒）
　v：「クリプトン（^{81m}Kr）ジェネレータ」のルビジウム81吸着部位からクリプトン81mの放射能測定部位までの通過空間容積（mL）
　α：クリプトン81m溶出剤の注入速度（mL／秒）
溶出ガス試験
　本品の使用方法により、本品から溶出されるクリプトン（^{81m}Kr）吸入用ガスは、次に掲げる性状、確認試験及び純度試験に適合する。
⑴　性状　無色の気体である。
⑵　確認試験　溶出液試験の確認試験を準用する。
⑶　純度試験　溶出液試験の純度試験を準用する。
⑷　定量法　溶出液試験の定量法を準用する。